

会 議 録

1 会議名

平成 25 年度 阿賀野市水原地区地域審議会

2 開催日時

平成 26 年 2 月 3 日（月） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 10 分まで

3 開催場所

阿賀野市役所「302 会議室」

4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

- ・出席：佐藤委員、新田委員、渡邊委員、漆山委員、田中委員、清水委員
- ・欠席：高澤委員、関口委員（8 人中 6 人出席）
- ・田中市長
- ・吉野総務部長、中村民生部長、小川産業建設部長
- ・立川財政課長
- ・増子学校教育課長補佐
- ・事務局：中野市長政策課長、苅部市長政策課長補佐、菅原企画経営係長、大澤市長政策課主事

5 議題（公開・非公開の別）

- （1）新市建設計画の進捗状況について（公開）
- （2）委員からの意見・質問事項等に対する回答について（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

3 人

8 発言の内容

（1）開会（市長政策課長）

半数以上の委員の方より出席いただいておりますので、これより平成 25 年度阿賀野市水原地区地域審議会を開催いたします。

(2) 市長あいさつ

おはようございます。委員の皆さまにはお忙しい中、阿賀野市地域審議会にご出席いただき、ありがとうございます。合併から 10 年が経過しようとするに当たり、今年度が地域審議会の最終年度になりますが、これまで新市建設計画の進捗状況を中心に、ご審議をいただけてきました。本日も新市建設計画の進捗状況、現在は 63% 程度の進捗率ということですが、状況について適切であるのか、今後変更が生じるのかどうか、皆さまよりご意見をいただきたいと思ひます。

今後については、本日の地域審議会を最後として、議会において皆さまのご意見を適切に踏まえていくかたちでフォローアップしていただくこととしています。本日はどうかよろしくお願ひいたします。

(3) 会長あいさつ

おはようございます。お忙しいところご出席いただきありがとうございます。今回も議題である新市建設計画の進捗状況に関してご意見をいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

(4) 委員自己紹介

出席委員の自己紹介

(5) 議事 (新市建設計画の進捗状況について)

資料に基づき、中野市長政策課長が説明。

佐藤会長： ありがとうございます。それでは、ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見等がある方は、ご発言をお願ひいたします。

漆山委員： 資料の中で中止の事業数が 2 事業となっていますが、昨年度の進捗状況においては 3 事業でしたが、1 事業は中止が解除されて事業化になったのでしょうか。

市長政策課長： 進捗状況表 5 ページの整理番号 56 「県営広域営農団地農道整備事業 (北蒲原南部 2 期地区) 」が整理番号 55 「県営広域営農団地農道整備事業 (北蒲原南部地区) 」へ統合されたことによるものです。

漆山委員： 笹神の焼却場について、半分を県外の民間最終処分場へ搬出することで現施設の延命化を図っていくとのことですが、この最終処分場の整備とは埋め立て地の増設を目的とした整備ですか。

市長政策課長： 現施設の建設当時に計画していた埋め立て量と現状に差があるために、今後新たに何年くらい埋め立てが可能か測量し直したものであり、埋め立て量のかさ上げをする事業ではありません。あくまでも、残容量を把握するために実施したものです。

漆山委員： それと関連して、昨今メタンガス化の取り組みがあるということを聞いていますが、阿賀野市では、ごみ焼却施設においてメタン発酵を将来的に実施する計画はありますか。

中村部長： ごみ焼却、埋め立てについては、焼却したものをそのまま埋め立てるものであり、特にガスが発生するわけではございませんので、現在のところ計画はございません。

漆山委員： 焼却物ではなく、ごみ減量化のために、将来的に生ごみを燃やす前に減量化してメタン発酵させることを考えていますか。他の自治体や民間企業でいろいろ取り組み始めたことが話題となったので。

中村部長： 市として具体的な計画は現在ございませんが、既設の民間施設において食物の残さを利用した副産物を生産、再利用することは産業団地で行われていますが、市として新たな具体的な考えは現在もっていません。

漆山委員： ごみ焼却施設について今後建て替える計画はありますか。

中村部長： ごみ焼却施設は年数も経過しており傷んでいる状態です。先ほどの説明でも触れましたが、将来的に五泉市と阿賀町と広域化し、一か所に施設を集約することを趣旨とした協議会が4月に正式発足します。今後10年くらいを目途に統合へ向けて動き出すということです。

漆山委員： 統合した場合、現在の焼却施設は廃止になりますか。

中村部長： その通りになると思います。現施設は阿賀野市単独の施設でありますので、最終処分場も含めて、廃止後の再利用でどのようなことができるかについて検討していきます。

漆山委員： 水原駅前の駐車場ができましたが、親御さんから子どもの送り迎えをすると

き、駅前がとても混雑すると聞いています。そのようなことも踏まえて駐車場は整備されたのでしょうか。

田中市長： 水原駅前では、以前は高校生の送迎車両が路上駐車をしていたので、これを解消するために駐車場を整備しました。ただ、誘導し切れていないところもあるので、今後路上駐車している方には駐車場へ誘導することで円滑な交通を確保していくことを考えています。

漆山委員： 送迎車両で混雑するということは、自転車で通う子どもが少ないのでしょうか。もし少ないのであれば、駐輪場のスペースが無駄になるのではないのでしょうか。

田中市長： 駐輪場には多くの自転車が停めてあります。おそらく徒歩の生徒が減っているのではないのでしょうか。正確な実態については今後把握していきたいと思いますが、現在、駐輪場は有効に使われています。

渡邊委員： 水原駅前の混雑の関係ですが、神山駅寄り側の駐車場の出口に柵が設置してありますが、駅から真っすぐ抜けられるようにした方がスムーズに行き来できるのではないかと思います。車が1台通れる幅はあるのにあえてふさいでいる理由はあるのでしょうか。車をそのまま流すかたちにすれば、駅前をスムーズに通行できるのではないのでしょうか。

小川部長： その方向で考えているのですが、出口のところがコーナーになっているので、そこを通すかどうか動線を見極めた上で判断しようと現在検討しているところです。公道自体は抜けることを想定して作っています。

佐藤会長： それでは、このほかご質問等はないようですので、(1)新市建設計画の進捗状況については、以上といたします。

(6)議事(委員からの意見・質問事項等に対する回答について)

漆山委員： 説明の前に、私が挙げた公衆トイレに関する意見についてですが、観光地に限らず、市施設全般の公衆トイレに関する意見ということでお願いします。

資料に基づき、苅部市長政策課長補佐が説明。

佐藤会長： ありがとうございます。それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問・ご意見等がある方は、ご発言をお願いいたします。

(質問・意見なし)

佐藤会長： 皆さんの意見がないようですので、本議事は終了とさせていただきます。

(7) その他

佐藤会長： 本日の議事は以上でございますが、この他にご意見のある委員の方はいますか。

新田委員： 先般、新潟日報の記事で核の最終処分場の候補地として阿賀野市が挙がっていましたが、このことで何かご存じのことがあれば教えていただきたい。

田中市長： 阿賀野市でそのことを知っている人は誰もいませんでした。国が勝手にそのようなことをしていたことに憤りを感じます。

漆山委員： 合併してから10年経過することにより、支所の方では、支障や不便さの声は挙がっているのでしょうか。

吉野部長： 安田、笹神、京ヶ瀬においては、合併当初は30人から35人程度職員がいましたが、現在は10人を下回る状況です。しかし、市としては、窓口サービスについて、市民サービスをなるべく落とさないように取り組んでまいりました。この窓口サービスに対する不便さの声はそんなにいただいていません。ただ、中には市役所へお出でいただかないと対応できない部分もありますが、この点については、阿賀野市は縦横30分で移動できる状況にありますので、本所へ出向いていただくことは、合併10年で定着してきたのではないかと思います。

漆山委員： 新市建設計画における「観光施設の整備」の事業箇所が水原代官所になっていますが、現実的には代官所よりも瓢湖へ行く人の方が多いと思います。しかし、代官所も立派な建物でありますので、瓢湖と代官所がつけられる観光コースをご検討いただきたい。

小川部長： 瓢湖と代官所を一緒に見ていただく方向で考えているのですが、瓢湖から代官所までの動線がない状況でありますので、この点の工夫が必要かと思えます。

例えば、白鳥の里の入場券と代官所の入場券をセットにすることで両方の施設へ誘導することも考えているところです。

漆山委員： 市役所の駐車場に引いてある白線の間隔が狭いので見直してもらいたい。

企画経営係長： 一昨年白線を引き直したとき、市役所向かって右側の保健センター側については、検診のために小さい子どもを連れた方々が多くご利用されるにあたり広くしてほしいというお声があったので、約 20 センチ幅を広げて引き直しました。一方、本庁舎側については、ある程度駐車台数を確保しなければいけないという事情がありましたので、幅を広げることはしませんでした。

漆山委員： 体育館の前はきれいに整備されて以前より止めやすくなりましたが、他の箇所は小さい車でなければ利用できないような状況でありますので、ご検討いただきたいと思います。

企画経営係長： 状況を見て対応したいと思います。

渡邊委員： 水原図書館が水原中学校内へ移転しますが、現在の図書館の空間はどうなるのでしょうか。

吉野部長： 場所がいいこともあり、いろいろなご要望をいただいておりますが、文化団体の常設展示場として活用することを考えているところです。

漆山委員： 支所の建物の中で空いて余っている空間は現在どうされているのでしょうか。

吉野部長： ご指摘のとおり、職員の減少により余った空間があります。ただ、行政機関としては、今でも安田支所内には農業委員会、笹神支所内には教育委員会がございます。他には、京ヶ瀬支所内に社会福祉協議会が入っています。現在、これまで複数階使用していたところを1階へ下りることで、見た目の改善を図っているところでございます。空いた部分の有効な活用方法については検討しているところであり、場合によっては、民間の方へ貸し出すことも視野に入れて、検討していきたいと思います。

佐藤会長： それでは、このほかご質問等はないようですので、進行を事務局へ戻させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、本日の審議会の運営にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

(7) 閉会 (吉野総務部長)

最後にごあいさつ申し上げます。冒頭申し上げましたが、阿賀野市地域審議会は時限ということで今年度末をもって閉会させていただくこととなります。これまで、新しい阿賀野市のために皆さまよりご意見をいただき大変ありがとうございました。他の合併市町村と異なり、各地区で引っ張り合うこともなく、円滑に運営することができました。これから正念場になりますが、10年間皆さまに大変お世話になりました。設置期間満了ということで今回をもって地域審議회를終了させていただきます。ありがとうございました。

9 問い合わせ先

総務部市長政策課企画経営係

: 0250-62-2510 (内線 263)

E-mail : shichoseisaku@city.agano.niigata.jp